

294

才 3

1-1-1

春江圖畫

名區小景

千歲園截板

愛知県有物品

山水乃我意を愛し雪月花を友と  
し境かゝり時々つゞく蹤跡あり  
是れを以て春江子山水を癖何とぞ  
之の好く春江子山水を癖何とぞ  
に遠近能奇勝を探り春夏秋冬の風  
雨氣富々真景を縮募しる事毎  
年酒酌後種々尾張の勝地三百餘景  
乎尚如今其中に就て十番を抄出

諸家乃詩歌連能を志す。名画小景  
尤號々世に名所舊跡を諸書に散  
見とす。或は星霜を経る古の實  
景を以て無名な俗地を却て奇傑の  
眺望ありて國々小の類多し。之  
乃如くは地不似る。誰か之を  
こゝに於て。或は小の書ありて  
かゝるもの韻士駱客勝地を幽討す

家乃一取て其の終端を并  
とす事あり

弘化四年春

七十有餘雪堂の書



A294





名區小景初編卷之上

大幸橋

鐵門高擁萬株松壽昇千秋瑞景濃觀月樓臺司白  
虎引流溝涵學青意上公才德同先聖大國文章繼  
祖宗日射黃金鷄尾耀人、仰見五層重

通成

ともよれてふ人ほあつこのは標乃さつてふ笑う志のさしり  
この酒たふしけいの亭さうのい言標、揚乃名やう有けん  
大津波のこころさうとりふさけいほくれいんぬ人介さう

仲敏

重好

昭豊

小牧山

繞離馭路翠雲橫仰見一山臨廣平云是當年柳營

學山

五ノ一



大幸橋



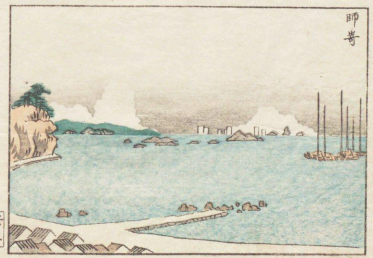
小牧山



野並上野松



脚奇



上三

跡松涛傳海凱歌聲

一舉義兵壽域開 猶看旆色止雲隈 川通南海如流 惟孝

練山在平田 若覆杯 綠樹相交常靄 群峯遠阻獨

崔嵬 千秋萬古甘棠德 長對兩城是盛哉

わつとく 林のこころいかりもつゆくたけりよきとれ 和雄

早稲にんれあけのきとこいされうまもりあきとく 啓

眼くくや 本くけしん 尺 稻むじろ 且齋

野並上野松

いー人のゆさこのわしれまーやんより上野の松の一枝 守胤

人介より上野小のこいり 松地を並の里に栞んてく小 道直

まーに枝をまきつててそとよこらうのよんのけり 宗利



衣ノ浦



鞍ヶ淵



上ノ山

北方大日社

老杉麓日碧松杵混：濤聲走白沙映渡江南望江  
北一拳如滌足金華

風文

衣の浦

こゝろもよの衣の浦ハま風ノ派の花ニかあうひかたま  
しらの海衣くしうろまむと月をハ波るれ林の月れ月  
云のあう衣の浦かまてこれハあハまの月波るの月し  
春の月くしうの衣の浦よのありもん波るあ川  
ふしう風吹ハまけり白く乃くろもれうい谷うりり  
波るぬ衣の浦のまきくかきむ夕日小如つりな  
くしうくと貝あむるの日永のり那

忠重

徳瑞

意然

信子

必有

嘉寛

鵬居



鞍ヶ洲

山下池枯草作茵行將遺事問村民世間唯畏鞍橋  
怪不省娥眉巧殺人

眉山

鶺鴒須堤

火とていかにいふにねね鞠の闇ふひひくく丹のわたり

琵琶秀

うまてハをいひやそれ

黄山

うらみは人のまんまの水

鶺鴒

消のこころを不風るれよあう水

月窓

琵琶島

花開樹吹暖柳乱水浮塵晴景難看過有人來問春

牧山

去とれりううー月と行くとくえれりあぬ山とぬ

春

鶺鴒須堤



琵琶島





釣有規有魚旨且多

鳴いよ川はかりとくや秋の水鶴豊  
砂よ川や西小かくる丘の春草屋

東谷山

のりくもらもれも屋産の林のまふんこれ陽山 忠元

風宮寄

弘化三年しとみしつうのしららく天ふ船のワヨリケ  
いこまて

たりわどいさふかまむ吹風の宮傍しつうもら唐本 千晴

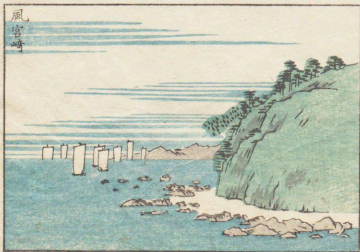
よらりこそあつさつもまどらうふよもなふお風宮の傍 嘉寛

富士塚

此地留英傑勤銘千古榮一盤緑如株知是富神名 鳳文



東谷山



風宮寄







徒棹郎終日送人忙

徒棹郎のんかきも乃乃アキ世とらふもかきんやと  
ふつやに山ひこまてしひまき氷のけうくけアぬる

実亮

岡坂山富士

岡坂風光好登臨眼界平東方一撮雪的、富峯晴

徳瑞

足坂の山ふんくれかふの根は天はき井かわはふふたり

正次

足坂や山回もつりこゆのナヤ

智山

千間猿尾

二州天限大河横猿尾従来亦有名兩後山、趣非

圓竹

一派聯齡連慙吟情

千刻くも一日ゆりあき花う都

三輪堂

岡坂山不二



千間棟尾



五ノ

堀川

山櫻花雜野桃新滿岸東風載酒人到處先須攜上  
望彩霞香雪兩般春

紫山

春江綠水泛吟蓬細酌陶然當好風岸上櫻花行不

七曲翁

畫數声漁笛夕陽中

浙雲輕兩暑初屏露裏行塵風意冷交水高樓齊上

牧山

燈一川深柳搖涼影

あゆらさるるやとてんはうまふかきとてやとれのうら

千疇

月もれれれぬのえんてれおわらるるかり川のち

白鷗

こゝはととものうらもるる川うらうらぬたのこりか

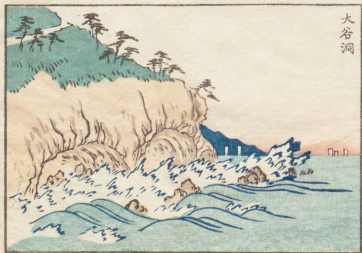
直政

大谷洞





橋川



大谷洞

昔日馮夷怒觸山、崩石裂開如閨千秋終作蛟龍  
 伯孝  
 窟吐納靈潮去復還

眼鼻石

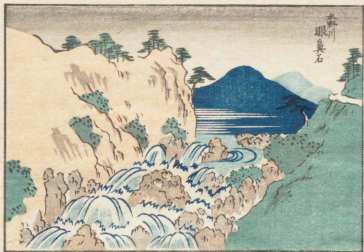
揚くて夢をりけを花ふふ  
 楚山  
 去風や夏小かりー城のうき  
 鶴豊

佐屋川

恰如双眼鼻有竅自然穿本非人疾子滿面受飛泉  
 伯淹  
 玄杖の花ののらたりてれういそく年ゆまれがさ  
 正枝  
 世の人れものいわとさむもさうふりま一若も  
 啓

春坡屋敷間遠樹緑廻環新水魚艤長渙舟下柳湾  
 牧山  
 赤んほほくこれき花のよこふにややくまのら風  
 宣子

森  
眼  
巖  
石



佐  
屋  
川



五  
十  
七

内津

木  
町  
し  
や  
岩  
り  
あ  
ら  
さ  
ら  
ハ  
口  
月  
村  
静

攀樹捫蘿登險熾風披宿霧送朝曦南臨北望天寒 忠陳

蔚山水一奇雲一寺

義  
稻

重  
躬

芳  
雄

應  
知

馬  
曉

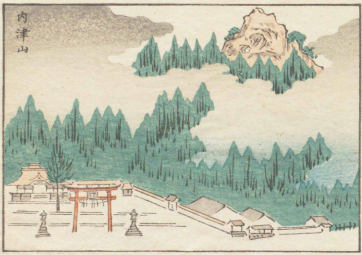
快  
遊

長  
久  
手

尋未長久手時昔戰爭塲森氏先驚走池田全滅亡 維賢  
 神君平喪亂黎庶喜安昌更見殘兵器悲秋暮色荒  
 おもひつゝ代名なきれは世のこゝろをいそわは  
 吹鈴の松の麓かきこえてわが日よわけよまゑの山 長翁  
 篠島の富士 嘉武  
 篠島の富士のひまわり細くやうきれりのうら  
 日のかくり先へんくう 山 幸國  
 兔農

祖父江堤

眺天風度東雲暗雪嶺殘陽浸浪明滿眼詩情何處 諸緑  
 是布帆幾片衝烟行  
 兩又一水尾濃開沙白如銀堆碧湾堤上蒙高窮目 淵源



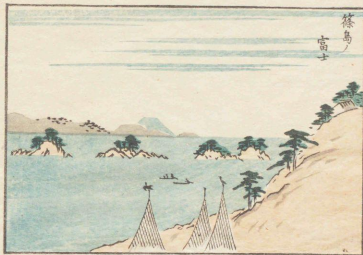
内津山



長谷  
佛ヶ根山



篠島  
富士



祖父江堤

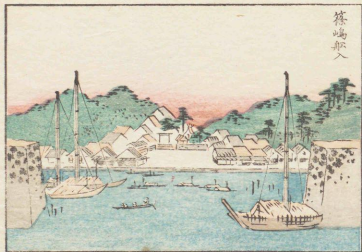


五十五

慶望中屈指十州山

碧水通千里白沙凸堤平西山日將没返照映金城  
 直道  
 白砂一川の白き凸堤あけきや風れ山とつくま  
 直持  
 ミナトのあしは川小言藤川高砂くるたては月影  
 貞足  
 ちかぬき 七ききの山の 今若ゆ 入れぢきや 國綱  
 八ぬの山 以中とめふい ともくや たきし切敷乃  
 九や度き とききの川の ぬきふふ 小ふつりり  
 十夕初きに わきし川 かしらひの せゆま一ゆ  
 十一庭りけて まつふ葉と まつとせ せひまきい  
 十二てふと 堤のまゆ 尾くすい

おんこ子とたろてつとま、うねい  
 輝朗



篠嶋船入



音聞山

篠島

川中と音のふくみ  
 東風吹やけふふくみ  
 帆のけし  
 辰離

音聞山

清間冥杖獨幽尋石坂  
 追々上古岑山畔千年  
 蕭寺 松篁

こころをなごめり  
 のまの山と名もく  
 清田村之辰の海  
 中ふくみ  
 信のま  
 山の山  
 風 春蔭  
 浦岳 主彦





亀崎

ふせうりやうをひかして 亀崎のこまの 船もはらやせ  
よつ代のもよひとたのむ 亀崎乃波のちろわそのしんりや  
見やこのまう城のまかふ ち代ふは 亀崎のま

且契夫妻一橋のやうりに里とせりこれ今こ所城へかむ  
んと茶釜の細もふひやうと木柱ひくさうと亀崎なれ

朝くまわ まうや ほと のれ 村 の 路

まこそ や 夕 日 も ふ そ ー 加 水

夜寒里

かたのぢくくもたさうんむきとのまむの里れ月夜  
白妙のつらとびて里の若くむむれ 夜月小うらり

守胤

千晴

義教

楚山

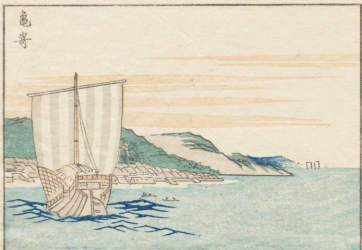
暉朗

村静

守信

相房

亀崎



夜寒里



雲川正峯  
屏風岩



秋江渡



屏風岩

衣ころき少山のをりれとて松その里乃秋風 義教  
 葉枕着もむもとけりりふりふり川や松子の里の砦 貞足  
 赤なる松葉のてれりたもに雲もあさわらん 友訓  
 空のひま吹とくふね風ハ秋さの里れ名くやまらん 徳瑞  
 こゝろの松 赤くくくや ちれ 犬 月 底

秋光媚我進鞋遅且詠且吟倉卒詩行到屏風巖下 精一

看山逾覺秀水逾奇

秋江渡

江樹西風老夕陽秋色孤遠沙人去盡帆影又将無 牧山  
 り 玉の岩下をけりむき次 月窓

壺泉寺



長森

龍泉寺

多摩山の鐘はあけこもきりてふと林はとけけり  
 風吹ハ浪のうらとまゆかり林はとけりれど何丁の夢  
 龍うこの砂すもまや 杖日より 我竟  
 大まてとてまけり候をけり 月清  
 ぬくまうに浪を鴨や向川 春 有秀  
 青林古寺清磬緑野平川白鷗終歲琴書酒卷暫時 寛斎  
 身世虚舟 梅居

長森

やまのしづか大森の代りすりて冬ふりふ花の林 盛久



本宮山



須佐入江



五共

ふ代みて衣々浦とこよれお月おろつるその長衣 浪丸

ちよりや 俄の中 のけー 寸限 其奉

本宮山

ほろこいさくや月夜も杉の雪 免農

梅も乃やむやるもなく不子も 茶明

須佐入江

月夜かやんすともまのゆやももんねほのそらうら 嘉寛

風ととも夕浜よりちむとすすは入江まきさつわむ 正明

いづ波の事もま川うや毛のうら 楚山

り合て一群まゆるちよりうら 春江

名區小景初編卷之上了



箕浦又兵衛